

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
378	378	養護老人ホーム偕楽荘管理運営事業	01	01	一般会計
基本施策	6	高齢者の健やかな生活を支える	03	03	民生費
担当部課名		健康福祉部高齢障害課	02	02	老人福祉費
作成者氏名	偕楽荘 山本義嗣	連絡先 0595-45-3010	02	02	養護老人ホーム費
			101	101	養護老人ホーム管理運営経費
			02	02	偕楽荘管理運営経費

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
老人福祉法第11条第1項第1号による措置入所者及び短期保護入所	在宅生活が困難な老人を養護し、日常生活支援、相談及び介護等を行う	
本年度事業内容	施設の維持管理、措置入所老人の処遇を行う。(事業計画の詳細は別添事業計画書による)	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等 (委託先:)	根拠法令・要綱等 賀市養護老人ホーム偕楽荘設置及び管理に関する条
市内の類似施設	恒風寮、梨ノ木園	

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	11	11	11
人件費合計(A)	79,200	79,200	79,200
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	42,517	48,038	46,400
需用費	26,920	28,751	28,000
報酬	8,131	9,757	9,200
委託料	2,261	2,780	2,780
その他	5,205	6,750	6,420
合計(A+B)	121,717	127,238	125,600
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	121,717	127,238	125,600
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
措置入所延べ人数(定員50名)	人	556	600	600			
短期保護事業利用者	人	1	1	1			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
入所者延べ人数	利用満足度などを指標とすべきであるが、把握が困難なため本指標を採用	人	556	600	600
			目標 (600)		
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

昭和28年に旧西柘植村により、定員30名の養老院偕楽荘として事業を開始し、その後町村組合立となり、また定員を50名とし、昭和38年には老人福祉法により、施設名を老人ホーム偕楽荘とした。昭和55年度に建物の全面改築を行い現在の建物となった。平成15年度には大規模修繕を行い現在に至っている。近年は、介護度の重い入所者、認知症の入所者等の占める割合が増加しており、養護にも関わらず介護業務の負担が高かったが、本年4月より養護老人ホームの入所者についても、介護保険の利用ができるように法改正がなされたことにより、今後は介護業務を外部に委託する形態をとるため、介護保険のサービス提供事業者との連携を適切に図ることが課題となってくる。

評価	必要性	4	今後とも行政の措置による入所施設として養護老人ホームは必要であるが、伊賀市における、入所措置基準による要養護老人数の将来推計も勘案しながら、養護老人ホームとしての将来像、方向性の検討をすべきである。	総合評価
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	2		
				B